



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市東総合スポーツセンター
 試合区分：少年男子 準決勝
 開催期日：2009年10月4日(日)
 開始時間：10:00

GAME No. 1004F1

主審：野口 浩正
 副審：茂泉 圭治

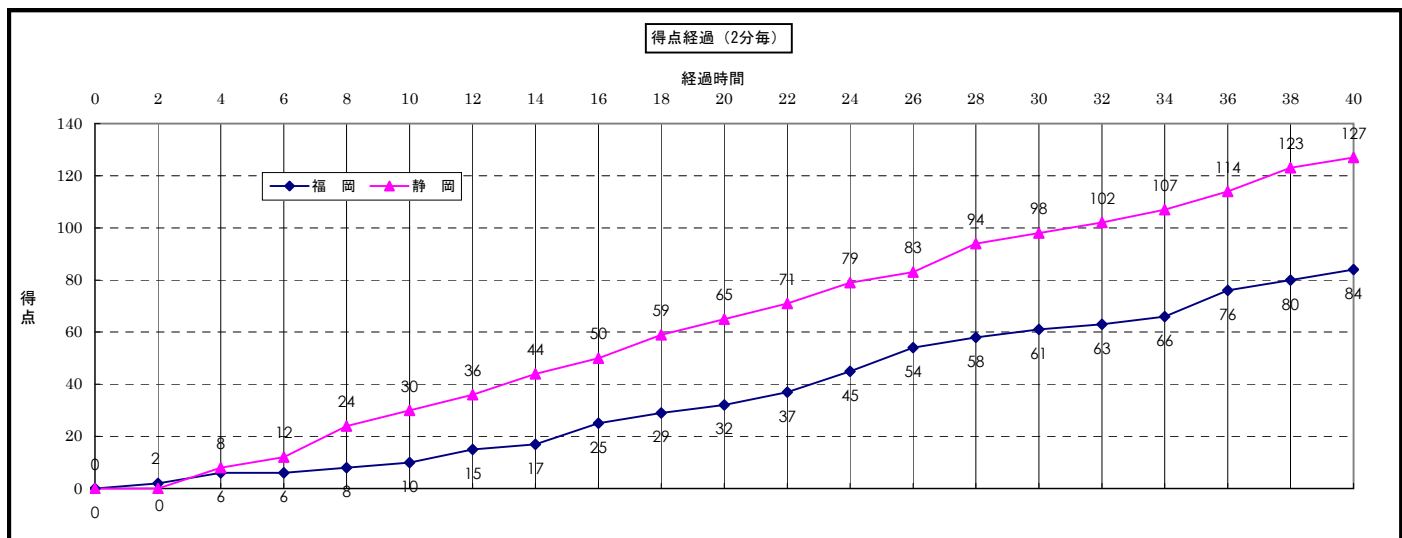
Team A	●	10 -1st- 30 22 -2nd- 35 29 -3rd- 33 23 -4th- 29	○	Team B
福岡	84		127	静岡

TEAM A		福岡					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		山崎 翔	2	0	1	0	1
5	*	本間 遼太郎	2	0	1	0	3
6	*	和田 直樹	13	0	6	1	5
7	*	園 幸樹	2	0	1	0	0
8	*	玉井 勇氣	21	3	6	0	1
9		豊嶋 龍生	0	0	0	0	0
10		田中 光	4	0	2	0	0
11	*	二宮 弘憲	15	0	7	1	3
12		矢嶋 瞭	13	1	5	0	3
13		永野 俊輔	9	1	3	0	1
14		児玉 貴通	3	0	1	1	1
15		佐藤 航	0	0	0	0	0
Coach		井手口 孝					
TOTAL			84	5	33	3	18

TEAM B		静岡					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	藤井 祐真	28	4	7	2	0
5	*	羅 中杰	21	0	8	5	2
6	*	永井 裕也	2	0	0	2	1
7	*	鈴木 友貴	21	1	7	4	0
8	*	古本 樹	2	0	1	0	1
9		張 曉博	12	0	6	0	1
10		石川 琢巳	7	1	2	0	3
11		古橋 広樹	24	1	10	1	1
12		曾根 秀介	0	0	0	0	0
13		大澤 歩	10	0	3	4	2
14		大野 陽平	0	0	0	0	0
15		金子 大斗	0	0	0	0	1
Coach		大橋 俊					
TOTAL			127	7	44	18	12

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
	6:28	13:10	23:55	31:41	35:52		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
	-	-	38:25	-	-		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、両チームともディフェンスはマンツーマンでスタート。福岡は#11二宮がゴール下で得点し、先制点を奪う。対する静岡も#5羅がゴール下でフェールを誘い、フリースローで得点し応戦する。中盤静岡は#5羅がスティールから速攻でダンクシュートを決め、勢いに乗る。残り3分半、静岡#7鈴木がバスケットカウントで得点し、6-17としたところで、福岡はたまたまタイムアウトをとる。しかし静岡の勢いは止まらず、その後も速い展開から#11古橋などが得点を量産。10-30の静岡リードで1Qを終えた。

2Q、開始直後、福岡は#13永野が3Pを決める。流れを変えたい福岡だったが、静岡は攻撃の手を緩めない。福岡はディフェンスを2:3ゾーンに変えるが、静岡は#9張らがリバウンドから得点する。終盤福岡は#12矢嶋が得点を重ね、反撃するが32-65とリードを広げられ前半を折り返す。

3Q、静岡は#5羅がゴール下で得点する。福岡も#8玉井らが3Pなどで得点し、序盤は互角の戦いをみせる。中盤、福岡はオールコートプレスでプレッシャーを強め、スティールから#6和田らが3連続得点し、開始5分で49-79とする。一気に追いつきたい福岡だったが、終盤、静岡の#4藤井らが得点を重ね61-98で3Qを終えた。

4Q、序盤静岡の猛攻が続き、開始3分で107-63と点差は広がっていくばかり。中盤福岡#8玉井が連続3Pを決め意地を見せるが、その後、静岡#9張がスティールからそのままダンクシュートに持ち込みゲームの流れを変えさせない。結局、終始圧倒的な攻撃力を見せた静岡が84-127で勝利し、決勝へ駒を進めた。

記載責任者 森山 勇也 (所属) 新潟県バスケットボール協会